
6. 記録や経験を残す活動

この章では、東日本大震災の記録や経験を記録して残し、後世に伝えることを目的とする活動の中から12のプロジェクトや活動を取り上げて紹介する。

支援活動については前章と同様に「活動概要」「実施団体・機関」「主な参画・協力団体・機関」「実施期間」「実績データ」の項目をシート形式で整理し、以下の2つの種別に分類した。

並び順はおおむね活動開始時期の早い順番とした。

なお、「実施団体・機関」「主な参画・協力団体・機関」のうち下線が引いてある団体・機関については、同様「7.1 支援団体」でその概要を紹介している。

6.1 現物資料の収集・保存 (No. 1~3)

被災地の図書館等を中心に行われている、東日本大震災に関する資料の収集活動を取り上げた。

6.2 震災デジタルアーカイブ (No. 4~12)

国内外の機関によって進められている、ウェブページやブログ等インターネット上のコンテンツも含めた東日本大震災に関する様々なデジタルデータを収集・保存・提供するプロジェクトを取り上げた。

6.1 現物資料の収集・保存(No.1～3)

岩手	宮城	福島	茨城	栃木	千葉	その他
----	----	----	----	----	----	-----

No. 1	仙台市民図書館「3.11 震災文庫」
活動概要	<p>仙台市民図書館では、震災後の2011年5月から震災に関する書籍や新聞、行政資料、その他さまざまな資料を収集しており、2012年2月にはそれらを「3.11震災文庫」と名付け、一般からの寄贈を募り資料の充実を図っている。</p> <p>収集対象は、(1) 記録集、写真集 (CD、DVD等を含む)、(2) 団体・個人の手記や体験記、作文集、文芸作品、(3) ボランティアの活動記録、会報誌、(4) 広報誌、ミニコミ誌、フリーペーパー、パンフレット、チラシ、(5) 避難所等で配布された資料、壁新聞、おしらせ、(6) 仮設住宅等で配布されている資料、(7) イベント、講演、講座等のポスターや配布資料。</p> <p>特に、収集が困難な民間企業や団体、個人が作成した資料の寄贈を呼びかけている。</p> <p>2012年3月にせんだいメディアテークで開催された、震災発生からの1年を記録や映像で振り返るイベント「星空と路 3がつ11にちをわすれないために」では、「仙台市区分地図2011」「復興支援地図」「津波詳細地図」やハザードマップ、震災関連の書籍、新聞、雑誌等「3.11震災文庫」所蔵資料の一部が展示された。</p>
実施団体・機関	仙台市民図書館
主な参加・協力団体・機関	
実施期間	2011年5月～ (収集開始)
実績データ	
出典及び関連情報	<p>仙台市民図書館 http://lib-www.smt.city.sendai.jp/index.html</p> <p>「星空と路 3がつ11にちをわすれないために」(せんだいメディアテーク) http://www.smt.jp/hoshizoratomichi/</p>



6.1 現物資料の収集・保存(No.1～3)

岩手	宮城	福島	茨城	栃木	千葉	その他
----	----	----	----	----	----	-----

No. 2	岩手県立図書館「震災関連資料コーナー」
活動概要	<p>岩手県立図書館が館内に設置した、東日本大震災に関する資料を集めたコーナー。震災発生直後から生み出された被害状況・救援活動・復興等に関する資料を後世に引き継ぐために収集・保存し、その資料を閲覧・利用することで、災害復興や防災対策・研究にも活用されることを目的とする資料コーナー。2011年10月21日にプレオープン。</p> <p>岩手県立図書館では、コーナー開設前からホームページ上等で資料の寄贈を呼びかけており、行政資料（臨時広報、災害対策本部情報、県復興計画等）、非買資料（避難所だより、ボランティアニュース、イベントのチラシ・配布物、各種団体の発行物等）、各種出版物（震災関連図書、報道写真集、記録集、雑誌の震災特集号等）等が配架されている。</p> <p>ウェブサイトで「震災関連図書」「震災関連雑誌」「視聴覚資料」「行政資料・災害対策本部情報」「ボランティアニュース」「復興に関する情報誌」「その他（チラシ等）」に分かれた所蔵目録が公開されている。</p>
実施団体・機関	岩手県立図書館
主な参加・協力団体・機関	
実施期間	2011年10月21日～
実績データ	<ul style="list-style-type: none"> ・震災関連図書547件 ・震災関連雑誌444件 ・視聴覚資料5件 等（2012年1月31日現在）
出典及び関連情報	<p>震災関連資料コーナーのご案内（岩手県立図書館） http://www.library.pref.iwate.jp/0311jisin/shinsailib/index.html</p> <p>震災の記録を図書館に - 震災関連資料をご寄贈ください。（岩手県立図書館） http://www.library.pref.iwate.jp/0311jisin/kizoup.pdf</p> <p>[新聞記事]「東日本大震災：記憶、後世に 県立図書館、関連史料を収集・公開／岩手」『毎日新聞』2011.10.23.</p>

2011年					2012年							
3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

10/21 プレオープン

6.1 現物資料の収集・保存(No.1～3)

		岩手	宮城	福島	茨城	栃木	千葉	その他
No. 3	図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」							
活動概要	<p>震災の記録を広く収集し未永く保存することにより、震災で得た教訓を後世に引き継ごうとする、8つの公共・大学図書館による共同キャンペーン。参加館が共同してキャンペーンポスターを作製、全国の自治体や図書館に配布して、震災記録の寄贈を呼びかけている。2012年3月に開始された。</p> <p>震災記録として「調査報告書、復旧・復興計画書、フリーペーパー、ミニコミ誌、チラシなど」「イベント・セミナー・相談会等のチラシや資料など」「各種活動記録(ボランティア記録、避難所だよりなど)」「学校だより、会報、広報誌など」「個人・団体が作成した文集・体験記・手記など」があげられている。</p>							
実施団体・機関	岩手県立図書館、宮城県図書館、福島県立図書館、仙台市市民図書館、岩手大学情報メディアセンター図書館、東北大学附属図書館、福島大学附属図書館、神戸大学附属図書館							
主な参加・協力団体・機関	みちのく震録伝、 saveMLAK 、 国立国会図書館 、 図書館振興財団 、 日本図書館協会 、 日本古書籍商協会 、 図書館総合展運営委員会							
実施期間	2012年3月～							
実績データ								
出典及び関連情報	<p>図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」 http://www.library.tohoku.ac.jp/shinsaikiroku/#kizo</p> <p>図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」の実施（東北大学附属図書館2011/3/8付けのプレスリリース） http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2012/03/press20120308.html</p>							

2011年

3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
-------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

2012年

3/2 ホームページ開設

6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手 宮城 福島 茨城 栃木 千葉 その他

No. 4	“COLLECTION: Japan Earthquake”
活動概要	<p>米国の非営利法人Internet Archiveと米国のバージニア工科大学による、東日本大震災に関するウェブサイトを集めた特設ページ。Internet Archiveが提供するウェブアーカイブサービス“ARCHIVE-IT”が用いられている。</p> <p>東日本大震災に関する、ブログ、社会的な論評、テレビ、オンラインのニュースサイト、支援団体等についての、英語と日本語によるサイトを収集・公開しており、2012年3月時点で、7632件が登録されている。</p>
実施団体・機関	Internet Archive、バージニア工科大学
主な参加・協力団体・機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国議会図書館 ・ 国立国会図書館 ・ ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所
実施期間	2011年3月～
実績データ	<p>総収録数 7,632件 (2012年3月20日時点)</p> <p>(サイト種別) ブログ 1,224、日本政府サイト 279、地方テレビ局 12、地図 6、ニュースサイト 43、一周年記念 42、写真 10、ソーシャルメディア 17、ビデオ 25、その他 1428</p>
出典及び関連情報	<p>COLLECTION: Japan Earthquake</p> <p>http://www.archive-it.org/public/collection.html?id=2438</p>

2011年				2012年								
3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

3月 アーカイブ開始

6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手 宮城 福島 茨城 栃木 千葉 その他

No. 5	<p>「東日本大震災・公民協働災害復興まるごとデジタルアーカイブス」(略称：311 まるごとアーカイブス)</p>
活動概要	<p>防災科学技術研究所と被災地の複数の自治体、地元企業、被災地支援を行う各団体等による、震災の記録を残すプロジェクト。社会防災システム研究の研究成果を用いて被災地の復旧・復興を「情報」面で支援する。失われた地域の「過去」の記録の再生、被災した「現在」の記録、今後の復興に向けたまちづくりの「未来」の記録を支援することを目的に掲げ、発災直後の映像の収集や、将来にわたっての復興に向けた定点撮影記録、音声ファイルのアーカイブ化等を実施予定。</p> <p>2011年7月15日に、防災科学技術研究所の「ALL311：東日本大震災協働情報プラットフォーム」(2011年3月開設)内に「311まるごとアーカイブス」のウェブサイトが開設された。2012年3月現在では、都道府県や市町村等の公的機関から提供された震災関連動画やシンポジウムの動画等が公開されている。</p>
実施団体・機関	<p>独立行政法人<u>防災科学技術研究所</u> 世話人：今村文彦氏(東北大学)、吉見俊哉氏(東京大学)、長坂俊成氏(防災科学技術研究所)</p>
主な参加・協力団体・機関	<p>沿岸被災市町村及び支援にあたっている自治体 地元企業、NPO団体等</p>
実施期間	<p>2011年7月ウェブサイト開設～</p>
実績データ	
出典及び関連情報	<p>311まるごとアーカイブス http://311archives.jp/</p> <p>ALL311：東日本大震災協働情報プラットフォーム http://all311.ecom-plat.jp/</p> <p>「ALL311：東日本大震災協働情報プラットフォーム」：Webサイトの開設と各種情報の協働発信～研究成果の社会還元の一環として～ (防災科学技術研究所 2011/3/23付けのプレスリリース) http://www.bosai.go.jp/press/pdf/20110323_02.pdf</p> <p>東日本大震災の記録とその活用～311まるごとアーカイブスの目指すもの～ (2011/10/8開催のシンポジウム) http://311archives.jp/index.php?gid=10398</p>

2011年

2012年

3月11日 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

3月「ALL311：東日本大震災協働情報プラットフォーム」開設

7/15 311 まるごとアーカイブスのウェブサイト開設

10/8 シンポジウム開催

11/28 震災関連動画公開

6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手 宮城 福島 茨城 栃木 千葉 その他

No. 6	「東日本大震災 写真保存プロジェクト」
活動概要	<p>ヤフー株式会社による、震災や被災地に関する写真等の記録を残すプロジェクト。震災で失われる前の街並みや風景、震災直後の様子、被災地の思い出や復興過程の写真を集め、ウェブサイトで公開する。2011年4月8日にプロジェクトが立ち上げられ、4月20日から写真の投稿の募集が開始した。</p> <p>投稿された写真は場所情報等を基にサイトの地図上にマッピングされる。2011年10月には、写真の投稿に加え、インターネット上にある写真、動画、ブログ記事等の情報を登録することが可能になった。また、Google社のアーカイブプロジェクト「未来へのキオク」と提携し、双方のウェブサイト上で写真や動画が閲覧できるようになった。</p>
実施団体・機関	ヤフー株式会社
主な参加・協力団体・機関	ピットクルー株式会社ほか
実施期間	2011年4月8日～
実績データ	<p>総投稿数：52,718点 写真保存プロジェクト：36,966点 他のサイトからの紹介数：15,762点（2012年3月1日現在）</p>
出典及び関連情報	<p>東日本大震災 写真保存プロジェクト http://archive.shinsai.yahoo.co.jp/ Yahoo! JAPAN、震災の記録を写真でのこす「東日本大震災写真保存プロジェクト」を開始（ヤフー株式会社 2011/4/8付けの発表） http://pr.yahoo.co.jp/release/2011/0408a.html 「東日本大震災 写真保存プロジェクト」が総合的な震災記録サイトに～「未来へのキオク」とAPI連携、写真・動画共有サイトなどの情報も収集～（Yahoo! Japan 2011/10/20付けのプレスリリース） http://pr.yahoo.co.jp/release/2011/1020a.html</p>



6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

	岩手	宮城	福島	茨城	栃木	千葉	その他
No. 7	「3.11 大震災 将来への記憶」						
活動概要	<p>東北地方のブロック紙『河北新報』を発行する河北新報社による、震災に関する写真等をインターネット上で募集し保存するプロジェクト。市民に対して震災に関する写真、動画、ブログ等の投稿を呼び掛け、収集資料をインターネット上で公開するとともに、長期にわたり保存する。</p> <p>東北大学の東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」との連携により、収集情報は国際的に公開・利活用される予定。</p>						
実施団体・機関	河北新報社						
主な参加・協力団体・機関	東北大学						
実施期間	2011年4月24日～						
実績データ	掲載写真数：702枚 掲載動画数：12件（2012年3月20日時点）						
出典及び関連情報	3.11大震災将来への記憶 http://jyoho.kahoku.co.jp/imagedb/cgi-bin/user_shinsai_search.cgi みちのく震録伝（東北大学） http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/						

2011年	2012年											
3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	4/24 投稿サイト開設											2012/3月 投稿フォーム変更

6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手 宮城 福島 茨城 栃木 千葉 その他

No. 8	「2011年東日本大震災デジタルアーカイブ」
活動概要	<p>米国ハーバード大学のエドウィン・O・ライシャワー日本研究所が立ち上げた、東日本大震災に関するデジタルアーカイブ。デジタル情報を可能な限り収集・保存し、利用可能な形とすることで、震災やその影響を学問的に研究・分析できる場を整えることを目指す。</p> <p>電子メールでのやりとりや、ウェブ上の動画や画像情報等を含め、情報技術を通じて多くの人々に共有された大震災に関する情報を、社会的文化資産あるいは研究に役立つ重要な一次資料と捉え、頻繁に更新・削除されるデジタル情報資源をアーカイブすることで後世に役立てることを目的とする。英語、日本語のほか、中国語、韓国語の資料を収集している。</p> <p>2011年8月15日には、ハーバード大学地理学分析センターと連携し、津波被害、震度、自治体別の犠牲者・避難者数等の震災出典及び関連情報や、人口、学校・病院・発電所等の位置、鉄道網等の基本情報を、レイヤーとして重ねて表示できる地図を公開している。</p> <p>2012年3月に公開されたサイト（アルファ版）では、「ウェブ・アーカイブ検索」「震災情報レイヤー地図」に加え、それぞれが自分の物語を投稿「わたしの『東日本大震災』」というセクションも設けられている。</p>
実施団体・機関	<u>ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所</u>
主な参加・協力団体・機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Archive ・ <u>国立国会図書館</u> ・ 米国議会図書館 ・ ハーバード大学地理学分析センター（Center for Geographic Analysis）、同メタ・ラボラトリー（metaLAB） ・ <u>saveMLAK</u>
実施期間	2011年3月25日～
実績データ	
出典及び関連情報	<p>2011年東日本大震災デジタルアーカイブ http://jdarchive.org/</p> <p>ハーバード大学ライシャワー日本研究所 2011/3/25付けの発表 http://hoshinoweb.txt-nifty.com/doc/files/digital_archive_initiative_at_harvard_reischauer_institute.pdf</p> <p>Japan Sendai Earthquake Data Portal（ハーバード大学地理学分析センターによるサイト） http://cegrp.cga.harvard.edu/japan/</p> <p>ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所との「東日本大震災に関するデジタルアーカイブ共同事業に関する協定」締結について（国立国会図書館2011/9/2付けの報道発表資料） http://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2011/_icsFiles/afieldfile/2011/09/02/pr20110902.pdf</p>

2011年						2012年						
3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3/25 英・日・中・韓の4か国語による趣意文発信 情報収集開始						8/15 各種情報をレイヤー表示できる日本地図公開						2012/3月 アルファ版公開

6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手 宮城 福島 茨城 栃木 千葉 その他

No. 9	「未来へのキオク」
活動概要	<p>Google社による、被災地の写真や動画等をウェブ上に投稿・共有する取り組み。2011年5月16日に開始された。被災前の町の風景、被災地の現在の様子や復興の様子その他、テーマごとの投稿も募集している。</p> <p>2011年10月にはヤフー株式会社の「東日本大震災 写真保存プロジェクト」との連携を開始し、相互の閲覧が可能となった。</p> <p>また、同社は、地震・津波の被害状況を記録・公開する「デジタルアーカイブプロジェクト」として、被害の大きかった東北地方の沿岸地域や主要都市周辺の「ストリートビュー」を撮影し、2011年12月13日から、Googleマップと「未来へのキオク」で公開している。</p>
実施団体・機関	Google社
主な参加・協力団体・機関	
実施期間	2011年5月16日～
実績データ	<p>写真・動画投稿総数：49,936件（2012年2月末現在）</p> <p>ストリートビューデジタルアーカイブプロジェクトが閲覧できる地域：6 県 82 市町村（2011年12月13日時点）</p>
出典及び関連情報	<p>未来へのキオク http://www.miraikioku.com/</p> <p>東日本大震災の被災地をストリートビューで記録します（Google Japan Blog 2011/7/8付けの記事） http://googlejapan.blogspot.com/2011/07/blog-post.html</p> <p>被災地域のストリートビューを公開します（Google Japan Blog 2011/12/13付けの記事） http://googlejapan.blogspot.com/2011/12/blog-post_13.html</p> <p>未来へのキオク レポート（集計期間2011年5月16日～2012年2月29日） http://www.miraikioku.com/report.html</p>



6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手	宮城	福島	茨城	栃木	千葉	その他
----	----	----	----	----	----	-----

No. 10	「3がつ11にちをわすれないためにセンター」
活動概要	<p>せんだいメディアテークが2011年5月の再開時に同センター2階に開設した、震災の影響をともに向き合い考えるためのセンター。市民、専門家、スタッフの協働によって復旧・復興のプロセスを記録・発信するとともに、制作された映像、写真、音声、テキスト等を「震災復興アーカイブ」として記録保存する。「スタジオ」と「放送局」によって構成され、取材・編集用機材の貸し出しや作業スペースの提供を行っている。</p> <p>また、Ustreamで震災体験を語り直し、支援を考える番組「わすれんTV311」を配信している。</p> <p>2012年3月にはこれまでに蓄積された映像や仙台市民図書館「3.11文庫」の資料を紹介するイベント「星空と路～3がつ11にちをわすれないために」を開催。</p>
実施団体・機関	せんだいメディアテーク
主な参加・協力団体・機関	仙台市民図書館
実施期間	2011年5月3日～
実績データ	コンテンツの再生回数：497,908回（2011年3月20日時点）
出典及び関連情報	<p>3がつ11にちをわすれないためにセンター（せんだいメディアテーク） http://recorder311.smt.jp/ せんだいメディアテーク http://www.smt.city.sendai.jp/ [イベント] 星空と路（せんだいメディアテーク） http://www.smt.jp/hoshizoratomichi/</p>

2011年					2012年							
3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		● 5/3 開設										● 3/6-12 「星空と路」開催

6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手 宮城 福島 茨城 栃木 千葉 その他

No. 11	「みちのく震録伝（しんろくでん）」
活動概要	<p>東北大学防災科学研究拠点を中心となった東日本大震災アーカイブプロジェクト。産・官・学の機関と連携して、東日本大震災に関するあらゆる記憶、記録、事例、知見を収集し、国内外や未来に共有することを目指す。</p> <p>被災地を中心に様々な視点から集められた記録や知見等を基に分野横断的な研究を展開し、東日本大震災の実態の解明や復興に資する知見の提供を進めるもので、プロジェクト期間は10年を目前としている。被災地の復興を記録するとともに、集められた情報を逐次公開する。</p> <p>2012年3月現在、「被災地の現地写真と航空写真、全周囲(360°)映像」、「津波再現シミュレーション、被災範囲の推定」、震災の画像記録「のべ4000km 被災沿岸の走行記録」、3D映像記録「3Dで知る震災被害」、復興写真マップ「写真で見る復興」、津波による建物被害地図「東北復興地図作成プロジェクト」、等のコンテンツが公開されている。</p> <p>2012年2～3月下旬にかけて、被災地において、記録や証言の収集とともに住民の思いや考え等の情報を収集する「みちのく・いまをつたえ隊」の活動を実施している。</p>
実施団体・機関	東北大学防災科学研究拠点
主な参加・協力団体・機関	<p>[行政、自治体等] 宮城県、仙台市、<u>文部科学省</u>、<u>総務省</u>、科学技術振興機構（JST）、<u>河北新報社</u> ほか</p> <p>[海外] <u>ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所</u></p> <p>[企業] 日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社NHKメディアテクノロジー、株式会社インフォマティクス、グローバル・サーベイ株式会社 ほか</p> <p>[東北地方企業] アジア航測株式会社仙台支店、NECソフトウェア東北株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 東北支社、応用地質株式会社東北支社 ほか</p>
実施期間	2011年9月～（10年間）
実績データ	
出典及び関連情報	<p>みちのく震録伝 http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/</p> <p>東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝（しんろくでん）」本格始動（東北大学防災科学研究拠点 2011/9/12付けの発表資料） http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/surveys/20110311/docs/tohokuuniv-press20110912.pdf</p> <p>[イベント] 東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム「東日本大震災アーカイブの最前線と国境・世代を超えた挑戦」 http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/symposium/20120111summary</p>



6.2 震災デジタルアーカイブ(No.4～12)

岩手	宮城	福島	茨城	栃木	千葉	その他
----	----	----	----	----	----	-----

No. 12	「東日本大震災アーカイブ」基盤構築プロジェクト
活動概要	<p>総務省が国立国会図書館等と連携して取り組む、震災アーカイブの基盤構築プロジェクト。</p> <p>2011年7月29日に決定された東日本大震災復興対策本部の「東日本大震災からの復興の基本方針」では災害の記録と伝承の重要性が指摘され、政府の一体的な取組として、「地震・津波災害、原子力災害の記録・教訓の収集・保存・公開体制の整備を図る。」「記録等について国内外を問わず、誰もがアクセス可能な一元的に保存・活用できる仕組みを構築し、広く国内外に情報を発信する。」ことが明記された。</p> <p>これを受け、総務省は、国立国会図書館等と連携し、東日本大震災に関する記録をデジタルデータで収集・保存・公開するルール作りを行うとともに、ネット上に分散して存在するデジタルデータを一元的に検索・活用できるソフトウェアを開発するプロジェクトを開始した。また、被災地での震災関連デジタルアーカイブの構築、運用モデル実証実験等を実施し、事業成果については国立国会図書館等による永続的な保存のためのポータルサイトへ移転・反映される。</p> <p>2012年1月には、同プロジェクトの一環として、東北大学防災科学研究拠点、東北大学附属図書館及びハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所と共に東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウムを開催した。</p>
実施団体・機関	総務省、国立国会図書館
主な参加・協力団体・機関	
実施期間	
実績データ	
出典及び関連情報	<p>総務省「東日本大震災アーカイブ」基盤構築プロジェクト http://www.soumu.go.jp/main_content/000139215.pdf</p> <p>東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム「東日本大震災アーカイブの最前線と国境・世代を超えた挑戦」の開催（総務省 2011/12/16 付けの情報） http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu02_02000033.html</p> <p>東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム「東日本大震災アーカイブの最前線と国境・世代を超えた挑戦」発表資料（みちのく震録伝のサイト） http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/symposium/20120111result</p>

2011年					2012年							
3月11日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			●							●		
			6/8 「知のデジタルアーカイブに関する研究会」（第3回）							1/11 東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム		